

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例 (2013年4月)

【適正使用】

Q：母がうつ病でジェイゾロフト™を処方され服用したが、動悸が出たので勝手に服用を中止し、症状が悪化している。どうしたら良いか？（県民）

A：ジェイゾロフト™の副作用に動悸の報告があるが、勝手にやめることは勧められない。服用中止により病気の症状が悪化して、治療が必要な状態とも考えられる。動悸が耐えられなければ、減量や薬の変更などの対策もあるので、主治医に相談する。

Q：薬を一包化してもらっている。便が出ない時、寝る前に、その中からパントシン™だけを取って飲んでいるが良いか？（県民）

A：一包化された薬を自分勝手に取り出したりして調節しない。便秘の症状について主治医に相談する。

【相互作用防止】

Q：副鼻腔炎でジェニナック™、エンピナース™P、ムコトロン™を服用中。頭痛で一般用医薬品のコリナスイブ™（イブプロフェン、アリルイソプロピルアセチル尿素、無水カフェイン含有）を飲みたいが、飲み合わせは大丈夫か？（県民）

A：ジェニナック™はイブプロフェンとの併用でけいれんが起こることがあるので注意する。

Q：甲状腺の治療でチラーヂン™を服用中。アレルギーで小青竜湯をもらったが、飲み合わせは大丈夫か？（県民）

A：不眠、発汗過多、頻脈、動悸などの症状に注意する。

【重複投与防止】

Q：ゼフロプト™、テルネリン™、リンゲリーズ™を服用中の患者。セフゾン™、ロキソニン™との相互作用は？（歯科医師）

A：リンゲリーズ™とロキソニン™は、いずれも成分がロキソプロフェンナトリウムで、重複投与となる。

【疾患禁忌】

Q：ウルソ™、ディオバン™、アダラート™CR、ガスター™Dを服用中の患者。トミロン™またはオゼックス™、カロナール™との相互作用は？（歯科医師）

A：相互作用は問題ないが、患者が消化性潰瘍であれば、カロナール™は禁忌。

【副作用防止】

Q：医師より、小児に抗ヒスタミン薬を処方したいらしいが、安全な抗ヒスタミン薬は何か？（薬局）

A：血液脳関門を通過しにくく、H₁受容体占拠率の低い抗ヒスタミン薬は、フェキソフェナジン、エピナスチン、エバステンである。